



## 9・10月 研修講座

### 研修講座受講の秋

まだまだ夏はこれからですが、研修講座は秋の講座の申込期間になります。9・10月も特色ある講座を実施しますので、その一部を紹介します。  
※申込状況により人数等を調整することがあります。

〈申込期間〉7/11月 - 7/25月

#### 芸術の秋

- 10月4日(火) No.457 「感性をはぐくむ創作～シンガーソングライターから学ぼう～」講座
- 10月17日(月) No.531 プレゼンテーション指導講座

#### コミュニケーションの秋

- 9月8日(木) No.607 学校運営に生かすコーチング講座(北部)(企業連携)
- 9月26日(月) No.605 コミュニケーション基礎講座II-ビジネスマナーから考える-(企業連携)
- 10月25日(火) No.602 コミュニケーション講座II-職場実践に生かす-(企業連携)
- 10月27日(木) No.610 コミュニケーション発展講座-人材育成に生かす-(企業連携)

#### 最先端の秋

- 9月16日(金) No.453 授業でのICT活用講座I(センター)
- 9月20日(火) No.454 授業でのICT活用講座I(北部)
- 10月17日(月) No.524 法やルールに関する教育講座III
- 10月18日(火) No.452 最先端科学から学ぶ講座



#### 教育相談では(受講条件あり)

- 9月9日(金) 教育相談(中級)講座I  
No.534 -家族からみる子どもの理解-【領域①】
- 10月4日(火) 教育相談(上級)講座I  
No.537 -連携とコーディネーター-【領域①】
- 10月27日(木) 教育相談(中級)講座II  
No.535 -精神医学からみる子どもの理解-【領域②】

#### 特別支援教育では

- 9月9日(金) 特別支援教育(発展)京都教育大学サテライト  
No.555 「インクルーシブ教育システム総論」講座
- 10月7日(金) 特別支援教育(発展)京都教育大学サテライト  
No.556 「子どもたちへの支援を引き継ぐ」講座
- 10月18日(火) 特別支援教育(推進)  
No.549 「通常の学級における合理的配慮」講座

◎「ITEC」ホームページ > 教育コンテンツ > 教科教育・学習指導 > タブレット端末向け教材 の順にクリック!

センターだより第81、82号で紹介しましたiTunes Uの教材はITECにも掲載しています。

iTunes Uから利用しないと使えないのか? iOSにしか対応していないのか?という複数のお問い合わせがありましたので、iTunes U以外にも広く御利用いただけるよう対応しました。

タブレット端末での利用を想定して教材は作成しましたが、コンピュータでの利用も可能です。ぜひダウンロードして、授業にお役立てください。

京都府総合教育センター ITEC Information Technology Education Center

ITECの使い方

Googleカスタム検索 Search

- 研修講座
- 教育コンテンツ
- 研究
- 特別支援教育
- 教育相談
- センター紹介
- 関連Webサイト



Let's get active!!

#### 小学校外国語活動「Let's get active!!」

このページでは、小学校外国語活動に役立つ教材を掲載しています。コンピュータを活用して外国語活動の授業にチャレンジしましょう。  
「外国語活動の授業イメージがなかなか広がらない・・・」  
「英語を話すのがあまり得意じゃない・・・」  
「常にAETの先生が外国語活動の授業にいるわけではない・・・」等々、そんな先生にお勧めのコンテンツをPowerPoint2007で作成しました。ぜひ一度チャレンジしてください。

# ～「キャリア教育に関する研究」の紹介～

授業実践を通じたキャリア形成支援の可能性の検討

パート2

## 小学校の算数科授業を事例にして

今回は、パート1で紹介した雛形モデルにしたがって、下記に示す仮説モデル「算数科におけるキャリア教育の可能性、日々の授業における児童へのキャリア形成支援の可能性」の検証結果の一例を紹介します。

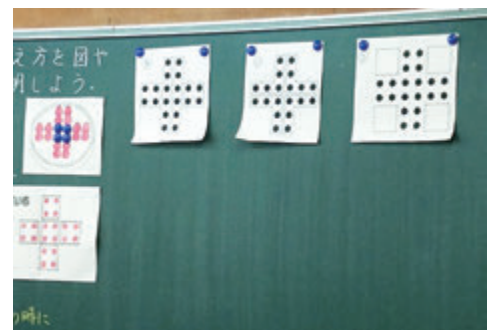


## 小学校5年の算数科「式と計算」実践事例

### 【教科書に記載される問題】

右のようにいちごがなっています。  
だいちさんは、いちごの個数を求める式を、  
右の図を使って4×5と考えました。  
だいちさんの考え方を説明しましょう。

ケーキの上ののっているいちごの個数を求める式について、教科書では「4×5」だけでなく、「5×4」、「6×6-4×4」や「4×2+6×2」等も示しています。



**ア** グループごとに説明する求め方を分担し、他のグループに説明できるように検討する場面を設定

①①① ②②② ③③③

**イ** グループを解体し、互いの求め方を伝え合い、異なる求め方に出あう場面の設定

①②③ ①②③ ①②③

**ウ** 学級全体でそれぞれの求め方のよさに気付かせる場の設定

児童の感想として、「友達に説明する学習はいいと思いました。理由は、将来社会に出たときに、説明を言ったりすることがあるからです。」「友達に説明すること、社会に出た時に自分の考えやレポートなども書いて説明しないとイケなくなるので、とても良い学習だったと思いました。」などの声が聞かれました。

また、児童に対して、「楽しかったか」、「分かったか」、「役立つと思ったか」の3点についてアンケートを行いました。そして、「役立つ」と感じる過程には、「楽しい」から「分かる」を媒介していることが統計的に検証でき、学習方法を始発点とした仮説モデルの再現性（「使えそう! 役立ちそう!」に達すること）を確認することができました。以上のように、教科の中でもキャリア教育が実践できる可能性があることが見えてきます。

## センター講座の紹介

センター講座において、全国各地での実践事例や方策、民間企業で実践されるキャリア教育について学べる機会として、10月14日(金)に京都府総合教育センター北部研修所で「キャリア教育講座」を実施します。講師は、文部科学省初等中等教育局児童生徒課の長田徹生徒指導調査官と文部科学省等が主催するキャリア教育推進連携シンポジウムでパネラーとしての経歴がある清川メッキ工業株式会社の清川卓二専務取締役です。全校種を対象としていますので、多数の御参加をお待ちしています。